



Tuck Hersey (タック・ハーシー)

2018年4月版

東京都中野区出身 1960年2月23日生まれ

青山学院大学英米文学科卒

血液型: B型 言語: 日本語、英語、猫語

番組制作のモットー: 責任を持って無責任になる

趣味: 楽器収集、バンド、Macいじり、ネコといちゃいちゃすること、ヨメさん

現在の担当番組: FM North Wave (月)~(金) 6:00-9:00am **Tuck's Morning Radio**

Tuck Hersey's Office代表

Website: <http://www.tuckhersey.com>

THE SEEDS

幼少の頃、両親がたまたまつけていたラジオでビートルズを耳にし、12歳でそのビートルズと再会。それ以来、楽器・レコード・音楽仲間など、右を向いても左を向いても音楽がある毎日を送るようになる。最初の音楽体験がラジオだったことが、もしかすると現在の仕事に何か潜在的な影響を与えているのか？

THE MUSIC

学生時代は、ギターを背にバイクにまたがるキカイダースタイルで奔走するミュージシャン生活の毎日を送る。どうにかこうにか大学を卒業するものの、「就職活動なんてオレには関係ないのさ！」と強がりを行い、就職することなくそのまま音楽一辺倒の生活を押し通し、親には多大な心配をかける。それが若気の至りだと気付いた時には時既に遅く、これまで一度も就職の経験がないまま現在に至る。

20代半ばでバンドで食うことの難しさに遅まきながら気付き、音楽の裏方仕事=CM音楽の制作をスタート。作詞・作曲・プロデュースを手がけた楽曲に有名なものはないが、とりえず食べていける程の収入源になっていた... とか。

THE RADIO

CM音楽制作の仕事がようやく軌道に乗りかけた頃、広告代理店の担当者から「どうだい、CM原稿を読んでみないか？」と誘われ、初めて「声の仕事」を経験する。まずまずの出来だったが、本人はナレーションの仕事に全く興味を示さず、たまに依頼があれば「音楽制作のついででよければ」というスタンスで受ける程度。まったく失礼な話だ。

1987年、全米チャートカウントダウン番組「American Top 40」のDJコンテストで2位を受賞し、その年の暮れディスクジョッキーとしてデビュー。音楽を作る方から紹介する方へ転身。FM横浜、FM仙台、J-Waveなどで様々な番組を経験後、1993年FM NORTH WAVEの開局に合わせ札幌に移住。同局の開局の瞬間のDJを務める。

THE HEART

音楽活動の延長線上にあったディスクジョッキーであるため、パーソナリティ、アナウンサー、ナレーターなどではなく、あくまでも「本来のディスクジョッキー」というものを強く意識した、音楽をいかにリスナーと共有するかを主眼に置いたスタイルで活動中。特に構成/選曲/進行/機材操作/トークなどを1人でこなすワンマンDJが得意なスタイル。現在は、FM NORTH WAVEで毎週日曜日12:00-16:00に生放送中のヒット・チャート・カウントダウン番組「SAPPORO HOT 100」のディスクジョッキーを担当中。

※ 東日本大震災以降のライフスタイルを提案し、被災地支援を行なうNPO法人 **Better Days Project** の副理事長でもある。
→ <http://betterdays-project.net>

■ 「ディスク・ジョッキーってな〜に？」 Tuck談:

ディスク・ジョッキーの一番大事な仕事は、トークをすることじゃないんだよ。何よりも大事なのは、心を込めて、遊び心を忘れずにバランスのとれた選曲を自分ですること。その上で、その曲のよさや、その瞬間の空気をリスナーと共有するために、曲をかけながら最小限のトークもするってことなんだ。そこがパーソナリティやアナウンサーと違うところなんじゃないかな。Disc Jockeyって言葉の元々の意味は、「Disc (=レコード、つまり音楽) を自分で選曲して、自由自在に操りながら番組を進行する人」だしね。

番組をバンドに例えると、音楽がボーカルだとすれば、DJはリズムギター。決してボーカルのような主役じゃないんだけど、その脇で音楽に色彩を与えたり、いいビートを生み出せたら嬉しいよね。音楽が太陽だとしたら、DJはその光を反射する月とも言えるかも。

「いいじゃん〜いですかあ」は口癖かって？それはね、どんな音楽でもそのいいところを見つけていこう！「ええとこめっけ」をしてこうよ！っていうメッセージを一言で伝えようって思って、札幌に来る時に考えたフレーズなんだよ、実は。あ、これは内緒ね！笑

今の自分の番組で、BGMを使った長〜いトークはなるべくなしにして、曲をフルコーラスでかける「あまりしゃべらないDJ」をやっているのは、さっき言ったDisk Jockeyの基本中の基本をシンプルに、しっかりとやろう！っていうこと... なんだろうね、きっと。

ラジオって画像や映像がないメディアだから、リスナーの想像力をより強く刺激できるはず。だから、溢れかえる様な情報を伝えるのは他のメディアにまかせるとして、音楽そのものの聴き方をラジオを通して提案して、色々な想像ができるような番組を作っていきたい。でもさ、まだまだ修行中なんだよなあ。シンプルなものって奥が深い！